

# 第1回 汐見稔幸先生を囲んで語る会

今、保育や子育てに一番大事なことを語ろう

## 報告

### ● はじめに（事前配布チラシより）

平成23年度全国保育士養成セミナー・全国保育士養成協議会第50回研究大会（1,000人）が、9月7日から9日まで富山県民会館を会場に開かれます。7日（水）には記念講演で汐見稔幸先生がご講演されます。この機会に下記のテーマで学習会を行います。是非多くの方々のご参集をお待ちしています。

名称：第1回 汐見稔幸先生を囲んで語る会

テーマ：「今、保育や子育てに一番大事なことを語ろう」

「子ども・子育て新システム」のゆくえや大震災後の支援や未来像を語り合う

会場：富山サンシップ 601号室

日時：2011年9月7日（水）18:00～20:30

参加者：38人

スケジュール

講演：汐見稔幸先生（白梅学園学長）、

ショートスピーチ：金田利子先生（名古屋芸術大学）

### ● 汐見稔幸先生の講演

まず始めに、先生の講演について編者の感想としてまとめさせていただくことをお断り申し上げます。

講演の内容は、幼保教育新システム、社会政策としての幼児教育、子育ての3本であった。

<1>新システムの話では、幼児教育の現代史を概観され、幼保一体化までの道のりと、今後について述べられた。

<2>社会政策の話では、格差社会による貧困層の増大に対して、効果的な政策は幼児教育しかない。イギリスの例を出しながら、日本の政策の貧困さについても語られた。

<3>子育ての話では、昔と今を比較されていた。昔、「こどもが地域で自由に遊んでいたこと、仕事を手伝っていたこと、家庭団欒を楽しんでいたこと」が今はできなくなっている、と指摘されていた。続いて、これらのことが、地域から子育て能力を奪い、子育てを家庭のみに押し付け、結果的に家庭を崩壊させる、と説明された。

<4>まとめとして、幼保教育が、「放牧」の場であり、手仕事をさせる場であり、団欒を確保させる場となっていくべきである。そうしたことを権利として親に与えることが新システムの根幹なのである、と結んでおられた。

### ● 金田利子先生のショートスピーチ

世代間の交流が必要、と熱く語っておられた。そして、共著の本を紹介されていた。

● 話の内容について先生のすばらしい博識・見識・良識がにじみ出て、実に奥深く盛り沢山であった。すべてを伝えきれないことが残念であるが、会場は、大いに盛り上がったことを記しておく。終わった後は、汐見先生を囲んで懇親会を行った。12名ほどの方々が参加して、先生との懇談を楽しんだ。



主催者早川氏による挨拶



汐見先生の講演



懇親会風景